

井戸端 通信

Vol.30 発行 平成18年9月2日

〒930-0096
富山市舟橋北町7-1
富山県民生涯学習カレッジ内
自遊塾倶楽部広報部

さらなる自遊塾をめざして

平成18年度塾長 松本 慎一



平成7年に開講した自遊塾、早いもので今年で12年目を迎えることができました。人間

でたとえますと、生まれてからもう立派な大学生にまで育ち、そろそろ独り立ちする頃ではないでしょうか。先人たちの苦労とノウハウで積み上げてきて、やっと今日の姿になりました。自遊塾も成人の年頃です。「学びたい・教えたい」と学びのフリーマーケットである自遊塾は、富山型生涯学習システムとして全国各地のモデルともなった富山県の誇るべき宝とも言えます。ところでいま富山県では、数々の施策や諸施設などについて抜本的な見直しが進められており、生涯学習もその全体が検討の対象となっている現状にあります。行政の支援のゆくえが懸念されているところではありますが、県民教授役員会では、ここまで続いたユニークな富山型学習システムである自遊塾の灯を消してはならず、さらに魅力あるものに育て上げようと、昨年度のFV (Future Vision) 委員会での検討内容を受け継ぎ、数度にわたって「新自遊塾」のあり方を検討しているところです。そのため、より多くの方から幅広くご意見をいただくこと、今年7月には県民教授や塾生のみなさんにア

ンケートを実施させていただきました。貴重なご意見をありがとうございます。これらご意見を集約して、いろいろな面から検討を加えていきたいと考えております。

ところで「自遊塾」の魅力を高める方策としていくつかの意見が寄せられています。

- ・県民教授や塾生の活動が、「自遊塾」内の講座にとどまることなく、県内の高齢学習や地域町内会、婦人会、学校教育などの生涯学習講座へ出前講師として積極的に出かけたたり、市町村主催の講座や企業に対する専門講座を開いたりするまでにならないだろうか。
- ・県の施策や事業、調査活動、研究への協力ができないか。
- ・講座の募集方式に、あらかじめ課題やテーマを決めた「このゆびとまれ型」の新しい方式を加えて、介護や少子化問題など、国や県の施策と連動した時流にのった重要なテーマを県民の皆さんと進めていく学習の場があってもいいのではないか。

・今年度あたりから増えてくる団塊の世代の人たちにとって、定年退職された体験やスキル、ノウハウなどをベラスにして、県民教授となって新しい講座を開設するとか、塾生となって自らボランティア活動にも取り組んでいくきっかけとなる学びの場とならないか。

・自遊塾の輪の広がりをもっと外に向けて、県内外の学習団体やサークルとの連携と交流を進めていくことができ

こうした新しい「自遊塾」の活動を積極的に進めていくためには、県民教授会としての活動、さらには塾生として参加いただいている皆様の協力が必要となります。県民教授会を中心として「自遊塾」として何ができるのか、何をしたいかなければならないのか、一つの組織体として活動していくことがいま本当に必要なときであります。

12年目を迎えた「自遊塾」は、「新しい自遊塾」に生まれ変わるターニングポイントの時であるといえます。自遊塾が従来型のままで、ただひたすらに行政の支援を待つというのではなく、自律性の高い魅力ある姿に、「自遊塾」の中味を変えていく、変えていかなければならないということをご理解いただき、今後とも皆様のご協力をお願いいたします。「新自遊塾」が、皆様の夢の実現の場になればと願っています。さらなる「新自遊塾」をめざして…。

平成18年度 県民教授会役員紹介

塾長	松本 慎一
副塾長	加藤 利雄
幹事	熊木 保子
	岡岸 喜義
	木内 静子
	串田 和博
	澤井 保子
	庄司 俊雄
	明神 博幸

ただいまよろしくお願い致します。

平成18年度

新講座 紹介



今年度新たに開設された講座の一部を紹介いたします。

富山県に新しい文化を！

みんなで楽しく群読！

県民教授 毛利 豊



「群読」は、声の文化です。声の重なりによる演劇といってもよいかも知れません。まず、群読脚本を音読します。役割を決めて分擔して読みます。何度か読むうちに、次第に感情を込めて朗読します。腹の底から声を出すとスッキリします。高肺の方にとっては肺活量を増し腹筋を鍛える体力づくりにもなります。みんなで読み方を話し合う中で、協力的な交流も生まれます。発表会で楽しみ、脚本づくりまで進むと奥の深さが味わえます。

塾生 梅田 満

群読とは、みんなで朗読すること。ふたり読み、それぞれ役割分擔しての読みなどいろいろある。それぞれの分擔をしっかりとこなし、リズムにのり、調和した時は思わず拍手。スカッとした気持ちよくなる。実践を重ねるほど、協力が高まり、大きな生きる力となり、老化防止になる。群読の魅力をたくさんの人に知ってもらいたいとつくづく思う。

コーチング・スキル・ワークショップ入門

県民教授 遊道 直美

この講座は、近年注目されているコーチングを気軽に学び、日常に活かしていくことで「ask」の輪を広げていきたいと思います。この講座は、講義と数名でのワークによる気づきを、コミュニケーションでの困りごとや、目標達成に活かすことを目指しています。「コーチング」ではなく、人としての在り方(Daig) だけではなく、人としての在り方

「ask」が大切だと言われています。コーチングの楽しさとともに、相手も自分も尊重し、お互いを思いやり含める文化が広がっていくことを願っています。

塾生 吉村 信哉



会話により「私はこういう風になりたいんだ」という具体的な目標に導く技術「コーチング」。最近では「コーチング」を取り入れている大手企業も沢山あります。しかし富山では講座が少なく学べる機会がありませんでした。この講座ではコーチングのスキル「聴く」ということを体験しながら学んでいます。「聴く」技術を学ぶチャンスを与えてくれるだけでなく、技術を学んだ受講生に話を聞いてもらえるので「私ってこんなことができたんだ！」と気づくチャンスも与えてくれる講座です。

子ども達の幸せのために！

のびのび遊ばせ隊

県民教授 早川 かし



子どもが犠牲者になる事件や子どもが加害者になる事件などが日常茶飯事になっている。最近では、中学生が家に放火し家族を死なせた事件があった。これは「放火し家がないかなれば受験地獄から逃げられる」と、短絡的に「考えた」結果だ。しかし実は「考えた」とはいえない。感情の赴くままに「キレた」だけなのである。家が燃えたら「住居や兄弟はどうなるのか」とイメージする力がなくなっている。「イメージ」力は「実体験」がないと育たない。また、

家族と豊かなコミュニケーションがあればこんな悲劇は起きなかった。私は子どもにとっての「実体験」は「遊び体験」と考えてこの講座を企画した。NHKの「クローズアップ現代」では「脳科学で防ぎたい子」という番組を製作し「もつと遊びを」と提案した。養老孟司氏は「子どもにもつと自然の中での遊び体験を」と呼びかけている。子どもは子ども時代にとつと遊び体験をしなければ、育たないのである。こんな自明のことを世の大人は分らないのだろうか。子どもの幸せの実現に向け早急に多くの子どもの遊び環境を作る「遊び師」が必要なのである。

塾生 松田 美雪

自遊塾の講座は、毎回、次から次に出て来る遊び道具に驚かされたり、わくわくさせられたり、子どものような気持ちにさせてくれる。「イタズラ村」の映像を見たときにはまさしく自分の望んでいた理想の環境に近い気がした。

「遊び体験のない子は、思春期の悩みを超越されないのでは」という話を聞くにつけても友達や大人と十分に触れ合い、汗をかくて遊ぶ経験の重要性を感じる。忙しくて、子どもとの遊びや会話の時間を十分にとりたいと一児の母として思った。

また、身近な所にも、子どもたちが子ども同士で、あるいは大人と一緒に安心して遊べる場所がほしいと思うようになった。子ども時代を思い出す時は、人工的なものに囲まれていた生活よりも、自然の中のおいしさや触覚、味覚など、五感を通して感じたことを思い出してほしい。そんな体験を通して強くたくましい子になってほしいと思う。

バルーンで動物、花を作ってみよう！初心者

県民教授 杉山 吉宏



地域や児童会のイベントなどでバルーンを作るととても喜ばれ、特に子ども達には大人気です。子ども達の喜ぶ顔を見てみると、こちらまで楽しく、元気をもらっている感じがします。このような楽しさを多くの方に感じて欲しいとの思いから開講しましたが、実

に多くの塾生の参加を得て毎回楽しく行なっています。さらに、塾生の住まいする地域でのイベントに、塾生とともに友情出演をしたり、各種イベントにボランティアで参加するなど、人前で演じて楽しんでもらうことを学びながら、皆さんとともに楽しんでいます。

塾生 竹下 智之

末っ子が通っている保育園の納涼祭で子ども達に作ってあげたい。そんな軽い気持ちで親子受講したこの講座。やってみると案外易しく、自宅に帰り、末っ子と長女(小学校3年生)の3人でワイワイガヤガヤと楽しんだ。奇妙な動物や花を作りました。バルーンは大人が子どもを楽しませるものと思っていたのですが、受講するうちに親と子、大人と子どもが共に楽しむ、無限の創造が可能なのもとても手軽な最良のツールだと感じています。

語り伝えよう「お話し会」

県民教授 奥井 悦子



民話に興味、関心のある人が多勢集まりました。二人以上の友達を作りましょう。を合言葉にスタート。話を重ねることに和やかな中にも真剣に学ぶ姿勢がひしひしと伝わってきます。桃太郎、浦島太郎、一寸法師等の物語唱歌を歌って童心に返り、手遊び、指遊びで脳を刺激し、方言での語りをCDで聞き、お喋りと笑いが一杯の楽しい講座となりました。今後は受講生の方がそれぞれの地域で次代を担う子供達が健やかに、心豊かに、幸せに暮らせるように、ふれあいを深めていってほしいものです。

塾生 内山 輝子

ふるさとの民話を語ることを生涯学習していきたいと願っておりしたので「語り伝えよう」ふるさとの民話の講座を期待を持って受講しました。一回目、二回目と受講し、毎回新しい感動と発見でわくわくします。講師の先生のさわやかな笑顔で「語り伝える」基本を教えていただき、とても和やかな雰囲気で大変楽しい講座です。子ども達にも、ふるさとの民話を語り伝えるボランティア活動に活かし精進していきたいと思えます。

県民教授の

ボランティア活動紹介

ボランティアによる講座運営のほか、県民教授を中心に多彩なボランティア活動の輪が広がっています。

**ボランティアを励みとして
自然美の転写アート**



県民教授 中川 佳子
女性海外派遣の団員として、富山市と富山県の事業に参加し、その事後活動として、他国の人との交流やホームステイを受け入れています。又、観光ボランティアとして富山を紹介し、大切なお子さまを預かる保育ボランティア、富山市から委託を受けて精神障害者地域生活アドバイザー、消防応急手当普及啓発推進協議会委員等、カルチャー教室 如月倶楽部主宰 押し花を児童館や愛育園、婦人会へ教えに行きます。富山県余暇啓発アドバイザーとして、富山発ゆとりすと倶楽部の会員ですが、まったくゆとりのない日々を過ごしています。

**出来ることで楽しんで
チンドンで愉快地演奏!**

私に出来ることで、他の人に出来ないことは原則ありません。ただ、知識がなかったり、無関心だったり、体験の機会がないため、たまたま私



県民教授 田辺 桂也

には出来るけど、他の人が出来ない! (というより知らない) ことはありません。それが、専門的な知識や技術であり、具体的にはちんどん太鼓の演奏なのです。私はちんどん太鼓だけではなく、他にもマジックやバルーンアートのボランティア講座に招かれますが、いずれも体験していただき、丁寧に「コツ」を教えます。ほとんどの方が出来るようになるのです。出来ると楽しくなりますね。

**自遊塾OBとともに
「蕎麦ロマン」**

自遊塾の「蕎麦ロマン」講座はボランティア講師十人余りの協力で成り立っている。家でも打って周りの人に「うまい!」と喜んでもらうには基本の技術(コツ)の習得が必要。そこで二〜三人に一人の講師がついて丁寧に学んでもらう。この講師の多くは、かつて自遊塾の塾生だった人達で、「出身の講座に恩返し」しながら「教える事は自分を磨く事」と喜んで協力。更に公民館・婦人会や地域おこしのイベント(利賀そば祭り・岩瀬ライトレール・JA収穫祭・企業など)への協力は大変だけれど喜びも大きい。特に中学校で級友と一緒に手作りした達成感とおいしさに輝く表情と、「お父さん、お母さんに



県民教授 稲垣 栄子

も作って食べさせてあげたい!」を聞くのと、皆で蕎麦打ちが役立って良かったと嬉しく語り合う。

**老人ホームや幼稚園・保育所などでかまぼこ
篠笛で童謡を吹きましょう**

民謡の唄を歌い、演歌を自作自演し、篠笛で古典からジャズまで吹き、津軽三味線を弾くという、特異なアーティストの所為か、各所からの演奏依頼は後を絶ちません。ボランティアとしては、月に1〜2度は、老人ホームや幼稚園・保育所などに慰問に参ります。自遊塾の塾生さんとは未だ一緒にいませんが、年度内には要望があればお披露目したいですね!

少しでも喜んで戴けるように趣向を凝らしてはいますが、なかなか難しい時もあります。基本は、全員参加! みんなで楽しく! が大切です。



県民教授 泉 貞夫

**障害者に粘土制作を
土人形のぬくもりに触れ、自分でも作ってみよう**

「障害者に粘土制作を教えるのも出来ないでしょう」と、いつも山登りの仲間から声をかけられました。子どもたちに教えることはよくあるのですが、障害をもった方との制作活動は経験がなく、「何をつくらう。」「どんな方法で、



県民教授 古川 圭子

仕上げればいいだろう。」といる模索しました。車椅子の方や、ベッドに横たわったままの方と、ベッタンベッタン、粘土を押しつけて形をつくらったり、ころころと丸めて重ねたりして、土の感触を楽しんでいます。月に一度のふれあいですが、長く続けていきたいと思っています。

**内山邸を伝えたい
茶室の歴史を知ろう**

私が初めて内山邸をたずねたのは、昭和五十二年県民会館の分館になった時である。

富山藩・巻千石の御扶持人十村役の豪勢な邸宅はもとより、茶道・漢詩をこよなく愛し風流に生きた十一世内山外川のつくった三つの茶室に感激した。それから二十数年、何回となくその茶室で茶事を催してきた。そしてそのつど茶室が私に語りかけているものを感じた。それは「茶室をつくった外川の思いを今に伝えてほしい」ということではなからうかと感じえたのはもう十数年前のことである。



県民教授 桃野 重昭

それから「内山邸茶室紹介」の個人講座を開設した。年に二回程度であったが毎回多くの方に参加いただき「富山にある茶室をもっと知りたい」との意見を聞き、県民カレッジで「富山の茶室探訪」講座へと発展させた。しかし「内山邸」は私の原点であり、今年も十月と、お盆に合わせて故郷の一日を楽しんでもらうため、講座と一服の程茶をしたいと思います。これは私のライフワークのボランティア活動である。

自遊塾で見つけた「ビデオ自分史」

塾生の声を紹介します。

ビデオ自分史に挑戦

三 鍋 良 啓



70歳の時、一切の勤めを卒業し、毎日が自由の身となった。これで生涯の仕事は終わったと思った矢先、先輩から「之で終わったと思ったら大間違い、自分の歩いてきた道を子孫に

伝える大事な仕事が残っている」と叱責を受けた。丁度時期を同じくして松本先生の「ビデオ自分史」講座が目に入り、早速応募した。授業が進むうち、自分のナレーションにインタビュー、更に全編に音楽を入れる等、活字に表せないユニークな手法を取り入れることが判り、是非多くの方に、喜んで見て頂ける作品に仕上げたいと思っ

自遊塾で知を遊ぶ

長谷田 一

学究に過ぎず、さりとして遊戯に落ちず、適度な知的刺激を享けて、年々乏しくなる我がドーパミンの発現を希求して、世のポランテア講座を探ったところ、県民カレッジの「自遊塾」に出会った。

そして魅力ある数々の講座から「古文書に親しみ、有名人の墨蹟を読もう」を選んだ。これは、趣味で訪ねる郷土の記念館・博物館等の展示資料を解説出来たら、先人の生き様になほ一層肉薄出来るのではと期待するからである。幸い、良



き師や熱心な同学に恵まれ「学びて時に之を習う亦説ばしからずや」の境地を目指して、揺ったりいこうと思う。

越中の山野草と温泉を

楽しもうと出会って

久 恵 精 一



今まで友人と山菜取りで山に入ると何かきれいな花が咲いているなあ…と見るだけでしたが、今度受講して、あれはクザキイチグと知り嬉しいやら楽しいやら…

山を歩きながら植物の特徴を聞いたり自然の営みについて学んだり、その度新しい発見があり、いつも新鮮な気持ちにさせられます。又、温泉につかった後で皆さんとの会話もはずみ、これも楽しみの一つです。体の続く限り毎年参加させて頂きたいと思っております。

人間の命と文化のいのち

加 藤 美 地 郎



長く関東で暮らし、富山市に移住してから満10年になるうとしています。当地の事情を殆ど知らなかった私にとつて、今もなお、違和感の毎日が続いています。他県から移住した人に手当たり次第に訊ねてみましたが、殆ど「自然は素晴らしいのだけど…」という答えが返ってきた。若い人に富山の自慢は何？と聞いても「何も無い」と答えるのが淋しい。文化不毛という土地柄も少なくとも江戸期以降何百年もの歴史の積み重なりの結果です。個人の命よりもはるかに長い文化のいのちの種を今が出发点と考えて、ほんの少しずつ育てましよう。

仲間と共に

自然の中で歌うこの喜び

近 藤 朱 未 栄

若い方の歌声は瑞々しく、心が洗われます。私達の「さわやかな空の下で歌いましょ」のグループは、本当に若い方がチラホラ。他は若そうな方々、四十名、はつきり言って大半がトシです。でも、沢山の試練を乗り越え、歌に彩られたそれぞれの人生。ふと立ち止まって、歌詞・曲想を噛み締めながら、仲間と共に自然の中で歌う。この喜びは最高です。



歌に感謝。仲間の輪に感謝。そして我等が重松先生のご指導に、心から感謝です。まだまだ自分のパートだけで精一杯！

♪わーれは行く心の命ずるままにの段階。重たい客車ではありませんが、先生、♪シュツシュツシュツシュツくーるいけむを出しこれからも引張っていってくださ

いね。軽くなる努力を惜しみませんから…。

自遊塾で見つけたこと

上 田 の り 子

「名山を楽しむ」…なんてワクワクするようなタイトルでしょう！今までも自分なりに山を楽しんではいたが、先生の講義を聞き進んでいくうちに楽しさの幅が広がっていきような気がする。

豊富な知識と経験を交えた先生の講義は、いつも愉快で面白くて、くたびれた脳が活性化されるようである。一緒に受講している人達ともすぐ打ちとけることができ、同じ趣味という連帯感がある。

楽しみながら知識を深め、仲間作りも情報交換もできるといことは本当に嬉しいことです。



県民カレッジ学遊祭

平成十八年十月十四日(土)開催

自遊塾も参加します

学遊祭は、生涯学習に取り組み、県民カレッジに集う県民の交流と発表の場です。自遊塾の各講座からも多数参加し、日頃の学習成果を発表しますが、今年度は「自遊塾」の魅力をも多くの県民に知ってもらおう機会ととらえて、「自遊塾」の活動の様子を紹介する展示など行なう予定です。是非、お知り合いの方などお誘い合わせのうえお越しください。

フーテン発表

みんなで楽しく群読し、横笛、聴いて吹いて、癒される…、美顔ツボで耳なりが楽に！3歳若く、太鼓と横笛。さあ！お祭りだ、さわやかな空の下で歌いましょう、ジャグリングを楽しもう、マイボエム編る&詠む、チンドンで愉快地演奏！

展示ミニ講座

膝で色紙をつくる、デジカメ写真を楽しもう、自然美の転写アート、美顔ツボで耳なりが楽に！3歳若く、楽しく楽しく絵本を作るう、越中国の埋もれた歴史、楽しもう！そして、伸ばそう、子どもの創造性、バルーンで動物・花を作ってみよう

ご意見、ご感想、投稿などお待ちしております

県民カレッジ 自遊塾係

〒930-0096 富山市舟橋北町7-1
TEL 076-441-8403
FAX 076-441-6157
E-mail: admin@tkc.pref.toyama.jp
http://www.tkc.pref.toyama.jp/